

## 平尾病院を受診された患者様へ

当院では以下の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報などを研究目的に利用または提供されることを望まれない方は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	去勢抵抗性前立腺癌（CRPC）に対するカバジタキセル（CBZ）療法の投与量（初期投与量/減量/休薬/増量）と投与間隔に関する研究
当院の研究責任者	森本江美（薬剤部）
他研究機関及び 各施設の研究責任者	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター 清水克次（薬局）
本研究の目的	CRPC に対し使用される CBZ は、重篤な骨髄抑制が高頻度に出現する。発熱性好中球減少症（FN）発症率は 54.5% であり、持続型 GCSF 製剤の一次的予防投与が推奨されている。しかし、通常量 25mg/m <sup>2</sup> の投与では血球回復までに時間を要し、3 週間毎の投与が困難となることが多い。本研究では、大阪国際がんセンターと平尾病院における CBZ 療法の使用実態を調査し、初回投与量別有害事象と治療継続性について検討する。
調査データ該当期間	2015 年 2 月～2019 年 3 月までの情報を調査対象とする。
研究方法（対象となる方）	2015 年 2 月～2019 年 3 月中に、新規に CBZ 療法を受け、その治療が終了された方
研究の方法（使用する情報）	2015 年 2 月～2019 年 3 月中に、CBZ 療法を実施し、その治療が終了となった 33 例を対象として、初期投与量、減量、増量、投与間隔延長の頻度とその理由、治療期間、投与回数、相対用量強度（RDI）、有害反応について、診療情報録から後方視的に調査する。有害反応は CTCAE v4.0 に基づき評価する。（年齢、病歴、治療歴、副作用の発生状況等）
試料/情報の 他機関への提供	大阪国際がんセンターへのデータの提供は、記録媒体を用い、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。
個人情報の取り扱い	使用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用しません。
本研究の資金源	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	電話：0744-24-4700（医療法人桂会平尾病院 薬剤部 森本江美） 電話：06-6945-1181（大阪国際がんセンター 薬局 清水克次）
備考	